

アクションプラン

I-1 事務事業一覧

施策①～⑥に対応した事務事業を次のとおり定める。

施策体系		事務事業名	地域公共交通 利便増進実施計 画
施策①：デー タ活用による バス路線の 再編・見直し	①-1 広域路線の確 保・維持・改善 ※重点事業	運行状況・利用状況の把握	
		データに基づく路線の維持・改善	○
	①-2 市内郊外エリア の路線バス見直し ※重点事業	金堀線の再編	○
		芦ノ牧線の再編	○
		その他の路線の再編	○
施策②：地域 主体による 「守り育てる 公共交通」の 推進	②-1 地域主体コミュ ニティ交通の制度・仕 組みの構築 ※重点事業	持続可能な地域コミュニティバスの 運行	○
		「地域主体コミュニティ交通支援制 度」の構築	
施策③：中心 部のサービス 向上	③-1 幹線軸の維持	幹線軸における路線バス利用の促 進	○
		AIオンデマンドバスの導入	○
	③-2 中心部における 新たな技術を活用した 移動手段の導入 ※重点事業	相乗りタクシーの導入	○
施策④：多様 な交通モード 等の連携	④-1 中心拠点・乗継 拠点の形成	会津若松駅前都市基盤整備基本 構想の実現	
		神明通りの待合環境・乗継環境の 改善	
		竹田総合病院前の待合環境・乗継 環境の改善	
		西若松駅前の待合環境・乗継環境 の改善	
		郊外の乗継拠点の待合環境・乗継 環境の改善	

施策体系		事務事業名	地域公共交通 利便増進実施計 画
	④-2 中心拠点・乗継 拠点における乗継利 便性の向上	ダイヤ及び乗場設定の見直し	○
		ダイヤの共有	
	④-3 公共交通とその 他移動サービスの連 携方策の検討	送迎バスとの連携施策の検討	
		小規模貨物の貨客混載による輸送 の研究	
	④-4 地域の課題解 決に資するMaaSの進 化・深化 ※重点事業	多様な交通モードを束ねる	
		移動目的との連携	
施策⑤：利用 環境の改善	⑤-1 中心拠点・乗継 拠点における案内強 化	総合案内版・乗場案内サイン・バス 停盤面等の整備・改善	
		総合案内マップの作成	
	⑤-2 情報・乗場・車 両の見直し	低床バス・ハイブリッドバス・電気バ ス・UD タクシーの導入	
		バスロケーションシステムの活用	
	⑤-3 運賃体系・支払 い方法 ※重点事業	キャッシュレス決済の導入	
		予約・配車・決済までのサービス提 供	
施策⑥：交 通・まちづくり の連携	⑥-1 異業種との連携	運行データの標準化・オープンデー タ化の推進	
		商業分野・観光分野との共創	
	⑥-2 多様な主体との 連携 ※重点事業	商業分野との共創	
		観光分野との共創	
		企業・事業者との共創	
		地域住民との共創	

I-2 各事務事業の概要・進捗状況・今後の取組予定

施策①：データ活用によるバス路線の再編・見直し

施策の目的	■ 各種データを活用して、適切な路線バスネットワークを構築する。
効果	■ 路線バスの利用促進 ■ 路線バスの運行の効率化

①-1 広域路線の確保・維持・改善 ※重点事業

※下線部 修正箇所

事務事業名	運行状況・利用状況の把握		
事業概要	利用実績、バスロケーションシステム等の運行情報データを活用して運行状況、利用状況を適切に把握する。 <乗降調査> ・補助対象路線を対象に、各バス停の乗降人数を調査する。合わせて、人力による調査以外の効率的な調査手法の検討を行う。<u>→キャッシュレス決済及び運賃箱の更新により常時乗降データの収集が可能となったため、人力での調査は実施せず。</u> <運行情報のデータ化> ・時刻表やバスロケーションシステムのデータの収集・更新及びオープンデータ化を継続する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
乗降調査	市	・調査実施 ・調査手法の検討・改善	・調査実施 ・<u>調査手法の検討・改善</u> → <u>調査手法の変更</u>
運行情報のデータ化	バス事業者	・運行データ収集・更新	

事務事業名	データに基づく路線の維持・改善		
事業概要	データを基に適正なサービスレベルを設定し、自主運行路線等の統合、見直し、公共交通空白地域への対応等を図る。 <自主運行路線等の統合、見直し> ・自主運行路線について、利用状況や運行状況のデータに基づき、主に日中の時間帯の運行形態を見直す。 <交通空白地域対策> ・市街地における、交通空白地域を解消するため、自主運行路線のカバーエリア拡大に対する支援を検討する。		

取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
自主運行路線の見直し	バス事業者	・データ収集 ・日中の運行形態の検討 ・運行形態見直し 	
交通空白地域の対策	市	・支援実施 	

①-2 市内郊外エリアの路線バス見直し ※重点事業

事務事業名	金堀線の再編		
事業概要	利用者が少なく、かつ固定化している金堀線について、運行本数の減便又は日中の時間帯のデマンド交通の導入等、運行の効率化を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
金堀線の再編	市	・再編案周知 ・再編実施 ・評価・検証 	

事務事業名	芦ノ牧線の再編		
事業概要	会津線と並走している区間のある芦ノ牧線について、ダイヤの調整などによる芦ノ牧温泉駅からの接続性の向上、及び利用が少ない区間の運行の効率化を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
芦ノ牧線の再編	市	・再編案周知 ・再編実施 ・評価・検証 	

事務事業名	その他の路線の再編		
事業概要	その他の路線について利用状況に応じて再編を検討する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
その他の路線の再編	市	・路線調査 	
		・近隣市町村との調整 	
		・再編検討 	・再編案作成 

施策②：地域主体による「守り育てる公共交通」の推進

施策の目的	■地域の実情に応じた公共交通ネットワークを構築する。
効果	■公共交通空白地域の解消 ■地域主体の運行による地域の活性化

②ーⅠ 地域主体コミュニティ交通の制度・仕組みの構築 ※重点事業

事務事業名	持続可能な地域コミュニティバスの運行		
事業概要	住民組織が主体となって運行する地域コミュニティバスの持続的な運行を確保するため、利用促進施策やダイヤの見直しを図り、住民利用の促進及び運行の効率化を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
金川町・田園町 住民コミュニティバスの運行	住民組織	・運行継続 ・評価・検証	
河東地域内 交通の運行	住民組織	・運行継続 ・評価・検証	
北会津地域 内交通の運行	住民組織	・運行継続 ・評価・検証	
湊地区地域 内交通の運行	住民組織	・運行継続 ・評価・検証	

事務事業名	「地域主体コミュニティ交通支援制度」の構築		
事業概要	金川町・田園町、湊地区、北会津地区、河東地区における「地域協働運行方式」の評価・検証を行い、地域の実情・特性を踏まえて、地域・住民が選択できる「地域主体コミュニティ交通支援制度」の構築を推進する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
「地域主体 コミュニティ 交通支援制 度」の構築	市	・制度設計 ・制度運用	

施策③：中心部のサービス向上

施策の目的	■ 中心市街地の利便性を向上する。
効果	■ 路線バスの利用促進 ■ 中心市街地への人流の増 ■ 商店街の活性化

③-1 幹線軸の維持

事務事業名	幹線軸における路線バス利用の促進		
事業概要	「会津若松駅～神明通り～竹田総合病院～西若松駅」の幹線軸における利用促進策を講じ、バス路線の維持を図る。 <乗り継ぎ運賃、ゾーン運賃、共通フリーパスの導入調査> ・乗り継ぎ抵抗の軽減、分かりやすさの向上、観光客等を対象とした共通フリーパスの導入などの検討を行い、利用を促進する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
乗り継ぎ運賃、ゾーン運賃、共通フリーパスの導入調査	市	・市街地での適用検討 	

③-2 中心部における新たな技術を活用した移動手段の導入 ※重点事業

事務事業名	AIオンデマンドバスの導入		
事業概要	定時定路線ではカバーしきれないエリア、目的等の需要に対し、AIオンデマンドバスを導入する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
AI オンデマンドバスの導入	バス事業者	・AI オンデマンドバスの導入 	

事務事業名	相乗りタクシー導入の検討		
事業概要	バス利用が困難な人の移動手段の確保を図るため相乗りタクシーの導入について検討する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
相乗りタクシー導入の検討	タクシー事業者	・先進事例調査研究 	

施策④：多様な交通モード等の連携

施策の目的	■公共交通間の連携環境を改善し、スムーズな利用環境を整備する。
効果	■公共交通の利便性の向上 ■公共交通の利用促進

④ーⅠ 中心拠点・乗継拠点の形成

※下線部 修正箇所

事務事業名	会津若松駅前都市基盤整備基本構想の実現		
事業概要	『会津若松駅前都市基盤整備基本構想』に掲げる①交通環境の改善、②利便性の高い駅前広場の形成、③官民連携による持続的な管理・運営、④地区の活性化、⑤玄関口にふさわしい景観形成、を図るため会津若松駅前広場及び駅前バスターミナル及びその周辺について再整備する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
会津若松駅前都市基盤整備基本構想の実現	市	・基本計画 	・基本計画→ <u>都市計画変更</u> 

事務事業名	神明通りの待合環境・乗継環境の改善		
事業概要	商店街及び主要な商業施設と連携し、待合所・乗継案内所の整備を図る。また、ICTによる乗車案内システムの整備を図る。 ＜待合所・乗継案内所の整備＞ ・商店街や商業事業者と連携して、商業施設の一角を活用した待合所・乗継案内所の整備を進める。 ＜乗車案内システムの整備＞ ・待合所・乗継案内所の整備に合わせて、路線バスの発着情報・運行情報等を表示するインフォメーション機能の整備を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
待合所・乗継案内所の整備	市	・商店街等との情報交換・協議 	
乗車案内システムの整備	バス事業者	・商店街等との情報交換・協議 	

事務事業名	竹田総合病院前の待合環境・乗継環境の改善		
事業概要	病院と連携し病院待合室を活用し、待合環境の改善を図るため、ICTによる路線バスの発着情報・運行情報等を表示するインフォメーション機能の整備を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
乗車案内システムの整備	バス事業者	・病院との情報交換・協議 	

事務事業名	西若松駅前の待合環境・乗継環境の改善		
事業概要	シェルターやベンチを設置し、待合環境・乗継環境の改善を進める。また、駅舎内にICTによる乗車案内システムの整備を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R6	R7
シェルター、ベンチの設置	市	・整備案検討 	
乗車案内システムの整備	バス事業者 鉄道事業者	・整備案検討 	

事務事業名	郊外の乗継拠点の待合環境・乗継環境の改善		
事業概要	地域コミュニティバスと路線バスの乗継拠点となるバス停にシェルターやベンチ等の整備を図る。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
シェルター、ベンチの設置	市	・整備案検討 	

④-2 中心拠点・乗継拠点における乗継利便性の向上

事務事業名	ダイヤ及び乗場設定の見直し		
事業概要	中心拠点・乗継拠点で、鉄道、路線バス、地域内交通等をスムーズに乗り継いで目的地に移動できるよう、ダイヤ及び乗場設定の見直しを図る。 <ダイヤの見直し> ・鉄道、路線バス、地域内交通のダイヤを相互に事前共有し、乗継時間の短縮を図るためのダイヤの見直しを行う。 <乗場設定の見直し> ・会津若松駅前都市基盤整備基本構想の進捗に合わせて会津若松駅前の乗場設定の見直しを進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
ダイヤの見直し	バス事業者 鉄道事業者	・相互に乗継を意識したダイヤ改正 	
乗場設定の見直し	バス事業者	・会津若松駅前整備に合わせた見直し 	

事務事業名	ダイヤの共有		
事業概要	交通事業者、行政間でダイヤの共有を図り、利用者に総合的に情報提供を行う。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
ダイヤの共有	バス事業者 鉄道事業者 市	・ダイヤの事前共有 ・総合的な情報提供 	

④-3 公共交通とその他移動サービスの連携方策の検討

事務事業名	送迎バスとの連携施策の検討		
事業概要	病院や旅館、学校等が実施している送迎バスの移動需要の代替・役割分担について、事業者と連携調整を図り、検討を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
送迎バスの実態調査・ヒアリング調査	市	・温泉旅館街ヒアリング調査 	
連携施策の検討	市	・温泉旅館街との協議 	・実証事業 

※下線部 修正箇所

事務事業名	小規模貨物の貨客混載による輸送		
事業概要	観光客の手荷物配送等、小規模貨物の輸送需要に対して、公共交通による貨客混載の導入を図る。 <路線バスによる貨客混載> ・温泉旅館街に向かう路線バスについて、温泉旅館街、観光事業者と連携して観光客の荷物を配送する貨客混載事業を実施する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
路線バスによる貨客混載	バス事業者	・温泉旅館街への貨客混載の<u>実施→実施検討</u> ・他の需要調査 	

④-4 地域の課題解決に資するMaaSの進化・深化 ※重点事業

事務事業名 多様な交通モードを束ねる			
事業概要	鉄道、路線バス、タクシー、カーシェア、シェアサイクル等の多様な交通モードの一括経路検索システム、運賃一括支払いシステムの導入を図る。 <運賃一括支払いの仕組みづくり> ・運賃の一括支払い化に向けて、決済及び分配の仕組み作りを行うため、関係事業者間で協議を行う。 <システム開発> ・決済及び分配のデジタル化を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
運賃一括支払いの仕組みづくり	SMP 協議会	・仕組み作りの協議 	
システム開発	SMP 協議会	・システム開発 	

事務事業名 移動目的との連携			
事業概要	通院、買い物、観光等、移動目的との連携を図る。 <連携施策の研究> ・通院、買い物、観光等の移動目的に係る予約、決済と交通の連携を図るため、調査・研究を行う。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
連携施策の研究	SMP 協議会	・調査研究 	・調査研究まとめ 

施策⑤：利用環境の改善

施策の目的	■各公共交通の利用環境を改善する。
効果	■利用者に分かりやすい利用環境 ■ユニバーサルデザインの推進 ■環境負荷の低減

⑤-1 中心拠点・乗継拠点における案内強化

※下線部 修正箇所

事務事業名	総合案内版・乗場案内サイン・バス停盤面等の整備・改善		
事業概要	中心拠点・乗継拠点に乗場案内、乗継案内、行先表示等を備えた総合案内版、乗場案内サイン、バス停盤面等の整備、改善を図る。 <総合案内板、乗継案内サイン、バス停盤面等の整備> ・会津若松駅前都市基盤整備基本構想の進捗にあわせて、会津若松駅前の総合案内板、サイン設備、バス停盤面等の整備を行う。 <路線名、行先表示の改善、アルファベット、ルートカラーの導入検討> ・市民・観光客等、誰にとって分かりやすい路線名、行先表示の改善を進める。また、アルファベット、ルートカラーの導入を検討する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
総合案内板の整備、乗継案内サイン、バス停盤面等の整備	市	・整備案検討	・会津若松駅前整備に合わせて整備着手→整備案検討
路線名、行先表示の改善、アルファベット導入、ルートカラーの検討	バス事業者	・整備案検討	・会津若松駅前整備に合わせて整備着手→整備案検討

⑤-2 情報・乗場・車両の見直し

※下線部 修正箇所

事務事業名	総合案内マップの作成		
事業概要	公共交通の情報や中心拠点・乗継拠点の情報を示す「総合案内マップ」を作成する。→再編後の路線バス情報を紹介するチラシを作成する。		
取組内容	実施主体 (案)	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
総合案内マップの作成	市	・作成(未実施)	・更新→路線バス情報の紹介チラシ作成

事務事業名	低床バス・ハイブリッドバス・電気バス・UD タクシーの導入		
事業概要	車両の更新に合わせて、低床バス・ハイブリッドバス・電気バス・UD タクシーの導入を図る。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
低床バスへの更新	バス事業者	・随時更新 	
ハイブリッドバス・電気バスへの更新	バス事業者	・随時更新 	
UD タクシーへの更新	タクシー事業者	・随時更新 	

事務事業名	バスロケーションシステムの活用		
事業概要	バスロケーションシステムを活用し、利用者への運行情報の提供を図る。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
バスロケーションシステムのオープンデータの更新	バス事業者	・データ更新 	
分かりやすいシステムへの改修	バス事業者	・改修案検討 	・改修着手 

⑤-3 運賃体系・支払い方法 ※重点事業

事務事業名	キャッシュレス決済の導入		
事業概要	各交通事業者の実情に応じて、QRコードやクレジットカード、交通系 IC カード、タッチカード等による運賃支払システムの導入検討及び推進を図る。 ＜バス事業者＞ ・キャッシュレス決済の導入を進める。 ＜タクシー事業者＞＜鉄道事業者＞ ・導入に向けて研究を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
各種キャッシュレス決済に対応した運賃支払いシステムの導入検討及び推進	バス事業者 鉄道事業者 タクシー事業者	・鉄道事業者の導入研究 	
チケットの電子化の推進	SMP 協議会	・電子チケットの拡大 	

事務事業名	予約・配車・決済までのサービス提供		
事業概要	キャッシュレス決済の導入に合わせて、MaaSとの組み合わせにより、予約・配車・決済まで一連の流れで利用できるサービスの提供を検討する。 <予約・配車・決済サービス提供システムの研究> ・予約、配車、決済の各段階でのシステム開発及びシステム統合について調査研究を進める。 <データ活用の検討> ・運行情報、人流等のデータの二次利用について調査研究を進める。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
予約・配車・決済サービス提供システムの研究	SMP 協議会	・調査研究	
			・調査研究まとめ
データ活用の検討	SMP 協議会	・調査研究	
			・調査研究まとめ

施策⑥：交通・まちづくりの連携

施策の目的	■他の分野と公共交通の連携を促進する。
効果	■各連携主体との相乗効果 ■公共交通の利用促進

⑥-1 異業種との連携

事務事業名	運行データの標準化・オープンデータ化の推進		
事業概要	路線バス等のダイヤや運賃、バスロケーションシステムのデータ等の標準化、オープンデータ化を進め、適切に更新していく。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
GTFS データ、バスロケーションデータの更新	バス事業者	・データ更新	



事務事業名	商業分野・観光分野との共創		
事業概要	人流データや、運行データ等について、商業分野や観光分野との連携を図り、利用促進策を検討する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
人流データ、運行データのオープン化の検討	SMP 協議会	・調査研究	




⑥-2 多様な主体との連携 ※重点事業

事務事業名	商業分野との共創		
事業概要	スーパーや商店街等と連携し、公共交通利用者に対してポイントサービス等の特典を付与する。 共同で乗り方教室を開催する。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
スーパー、商店街との連携施策の検討	市	・商店街等との情報交換・協議 ・実証事業等の実施	
乗り方教室の開催	市	・教室開催	




事務事業名		観光分野との共創	
事業概要	観光客向けに周遊フリーパスを設ける。 公共交通チケットをセットにした旅行商品を販売する。 観光情報媒体に公共交通に関する情報を盛り込む。 イベント実施時に合わせた公共交通利用者への特典の付与。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
新たな観光周遊フリーパスの販売	バス事業者	・DMOとの連携協議 ・実証事業等の実施	
新たな旅行商品の販売	旅行者	・DMOとの連携協議 ・実証事業等の実施	
イベント実施時の特典付与の検討	バス事業者	・イベント主催者との連携 (随時)	

※下線部 修正箇所

事務事業名		企業・事業者との共創	
事業概要	企業・事業者に働きかけ、通勤時の公共交通利用の促進を図る。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
通勤利用の働きかけ	市	・市内事業所への働きかけ	
通勤利用の促進	市	・ <u>実証事業（未実施）</u>	・ <u>実証検証→利用促進施策の検討</u>

事務事業名	地域住民との共創		
事業概要	出前講座やバスの乗り方教室を開催する。 公共交通へのサポーターづくりの推進を図る。		
取組内容	実施主体	進捗状況と取組予定	
		R7	R8
出前講座・ 乗り方教室 の開催	市	・教室開催 	
サポーター 制度の研究	市	・市内適用検討 	・調査研究まとめ 